

明日から職場が活性化する “よしもと流”コミュニケーション能力

西野ビジネスコンサルタント事務所代表の西野氏

火曜午餐会・1月初例会は公開講演会として21日13時から当部5階大会議室で開催した。講師に元漫才師で、ファイナンシャルプランナー、西野ビジネスコンサルタント事務所代表の西野義次氏を招き「明日から職場が活性化する“よしもと流”コミュニケーション能力」をテーマに語って頂いた。西野氏はコミュニケーション能力について「向上させることで、「人間関係」「対面力」「集中力」、そして「発想力・企画力」がアップする」と語った。講演要旨は次の通り。

コミュニケーション能力を向上させることで、社内での上司、部下、そして同僚などの「人間関係」、お客さまへの「対面力」がアップする。また「集中力」が増し、特に事故が多い建設現場でのけがを防げる。そして「発想力・企画力」もアップする。人間は全てにおいて3回見ると飽きてしまう。ですから常に新しいものを考えること。

バーバルコミュニケーション

バーバルとは言語のこと。葉書、手紙、そしてパソコンやスマホでのメール、SNS、これらを使って相手と会話をする。しかし、アメリカの心理学者・メラビアンの「メラビアンの法則」には、言語だけでは7%しか相手に伝わらない。そして、メールやSNSは本人でなくても発信ができるのであまり信用もできない。

そこで、メラビアンは、非言語で演出を加えることで相手に93%伝わる「ノンバーバルコミュニケーション」が重要だという。

“よしもと流” コミュニケーション能力

お笑い芸人やタレントが使うノンバーバルコミュニケーションは「目線」「表情」そして「声」のトレーニングをして能力を高める。

特に目線は、視力ではなく周囲を見る視界力。視界力を広くすれば安全確保ができる。様々な情報を吸収でき営業活動にも役立ち、社内の活性化にもつながる。実際に大手ゼネコンでも取り入れていただき、労災が減ったという報告も頂いた。

そして顔の表情。芸人では笑福亭鶴瓶さんの笑顔は非常に素晴らしい。口角を上げることで、何と

優しい人なのかと思われる。顔には表情筋がある。普段あまり動かないが、この筋肉を活性化させることで喜怒哀楽を出せる。

そして発声。普段から大きな声を出す練習をしてください。声が通り、内容も伝わり、顔の表情も良くなる。

“よしもと流”コミュニケーション能力を高めることで、信用が生まれ、ビジネスの成功につながり、安全対策もできる。交通事故に遭うこともなくなる。是非、皆さんの社内や地域活動でも活用していただきたい。

